

## 新たなモビリティサービスの取組について

令和3年度より取組を実施してきたグリーンスローモビリティについて、荻窪三庭園（荻外荘公園・大田黒公園・角川庭園）を含む荻窪駅南側地域における区民や来街者の回遊性を向上させるため、令和6年11月25日から本格運行を開始しました。

また、令和7年1月8日より、移動から派生する都内住宅都市部固有の課題解決並びに新たな移動価値を創出するため杉並区産M a a S「ちかくも」の実証実験を開始しました。加えて、公共交通不便地域である堀ノ内・松ノ木地区周辺において、新たな乗合交通（A I オンデマンド交通）の実証運行を開始しましたので、ご報告いたします。

### 1 グリーンスローモビリティ

#### 運行実績

		実証運行合計 5月～8月 (95日間)	11月 (6日間)	12月 (31日間)	1月 (31日間)	11月からの 総合計 (68日間)
乗車人数		2,773	469	2,868	2,414	5,751
1日の 平均乗車人数	全日	29	78	93	78	85
	平日	23	72	77	58	69
	土日祝日	46	76	101	92	90
	水曜日	20	64	66	40	57

### 2 杉並区産M a a S「ちかくも」

M a a S (Mobility as a Serviceの略)とは、ICT活用による移動をスムーズにつなぐ新たな移動の概念又は様々な移動サービスを1つに統合させた新たなモビリティサービスのこと。区は、杉並区地域公共交通計画に基づき、M a a Sを基軸に、地域交通や地域コミュニティの活性化を図っていくこととしており、「ちかくも」はそのサービス名称。

#### (1)「ちかくも」の名前の由来

小さい移動が大きい移動を生み、「近くも遠くも」移動が活性化されることで、地域の活性につなげていくという意味がある。

#### (2) 導入目的

公共交通・自転車・徒歩による移動機会と交流機会を増やすことで、区民のウェルビーイングを向上させるとともに、マイカー利用から徒歩・自転車・公共交通への利用転換を図り、環境負荷を低減させることを目指す。

#### (3) 主なサービスメニュー（令和7年2月25日現在）※今後、機能を拡張していく予定。

- ・区内のスポット情報や自転車駐車場の位置を表示、経路検索との連動
- ・グリーンスローモビリティの位置情報
- ・A I オンデマンド交通の予約

#### (4) 実証実験の内容

- ・区公式ラインからアプリ経由で、公共交通等の利用を促進するとともに、取得した移動・利用データを分析し、さらなる移動創出に向けた施策の検討に活用する。
- ・区の交通事業（南北バスすぎ丸、グリーンスローモビリティ、A I オンデマンド交通）を軸とした、地域内の他交通モード（鉄道、バス、シェアサイクル、駐輪場）、地元商店及び区内の他部署との連携を図り移動総量の底上げを目指す。

### 3 乗合交通（AIオンデマンド交通）

AIオンデマンド交通とは、利用者の需要に応じてAIを活用し、効率的な配車・運行を行う交通サービスのことで、バスとタクシーの中間の特性を持った新たな乗合交通。利用者は、予約時に指定した運行地域内の仮想停留所（ミーティングポイント）間を乗車する。

#### 【運行計画の概要】

(1) 授業主体	杉並区
(2) 運行事業者	区内に営業所を持つタクシー事業者（1ヶ月おきに交代） ・東都タクシー無線協同組合（1月8日～1月31日） ・杉並交通第二株式会社（2月1日～2月28日） ・さがみ交通株式会社（3月1日～3月31日） ・キャピタルモータース株式会社（4月1日～4月30日） ・三幸交通株式会社（5月1日～5月31日）
(3) システム事業者	株式会社未来シェア
(4) 運行時間	9：00～17：00
(5) 運行地域	堀ノ内・松ノ木地域
(6) 運行期間	令和7年1月8日～令和7年12月31日（予定）
(7) 運賃	現金300円（未就学児無料）
(8) 運行台数	1台（JPN TAXI（乗車定員4名※）） ※車椅子乗車の場合は2人まで
(9) 利用方法	杉並区産MaaS「ちかくも」若しくはコールセンター ※乗車前日から予約可能
(10) 乗降場所	20箇所（令和7年2月7日時点）。下図「ミーティングポイント図」参照

